



制作：かながわ経済新聞

首都圏産業活性化協会会員の構成(令和6年4月19日現在総数547) ●営利法人：268(個人事業主、金融機関含む) ●教育機関29 ●団体72 ●自治体20 ●個人会員158(コーディネーター含む)



マノ精工株式会社
MANO SEIKO Co.,Ltd

トップインタビュー

マノ精工株式会社 代表取締役社長 **林 愛子氏**

マノ精工は、東京都立川市で創業した精密金属加工の専門メーカーで、現在は埼玉県狭山市を製造拠点としています。多種多様な金属を扱い、難加工にも取り組みます。取引先などから高い評価を得ており、中小企業を顕彰する数々の賞も獲得しています。今回は同社の林愛子社長に、ものづくりに向き合う姿勢や経営方針などについて話を聞きました。

素早い経営判断と現場の力で難局を打開

難加工にも諦めずに挑戦

当社はNC旋盤を中心として、歯切盤(歯車を作るための加工機)、ブローチ盤などを使い金属を加工し、主に釣り具のリールやトラック、自動車、医療機器などの精密機械部品を製造しています。現在は、小型歯車の精度を高めようと、日々技術の向上に取り組んでいます。

顧客からの要求精度が高まっている中で、製品の精度を上げるための設備投資として、真円度測定器やNC歯車加工機なども導入しています。

以前、ゴルフクラブのヘッドのような形状をした部品の加工を依頼され、現場の熟練者に相談したところ「こんなものはない」と言われたことがありました。それでも私は「どうしてできないのか」と、何度も問いかけました。そうしたやり取りを繰り返した翌日、その社員が部品の加工図面を描いて持ってきてくれたのです。この製品は今でも生産していますが、こうした努力の積み重ねによって、「これがマノの〇〇だ」と言われる製品を作れるようになったと自負しています。

拓殖大生が会社ロゴを作成

当社は2003年9月、東京商工会議所の第1回「勇気ある経営大賞」優秀賞を受賞しました。この受賞は、経営者として大きな自信になり、当社が取引先から評価されるきっかけになったと感じています。さらに04年11月に東京都知事から「ものづくり技能者育成感謝状」を授与され、06年4月には中小企業庁の「明日の日本を支える元気なモノ作り中小企業300社」に選ばれました。

また、08年2月の当社創立60周年を記念し作成したロゴマークは、拓殖大学工学部デザイン学科の学生さんが作ってくれたものです。実は、私からTAMA協会さんに、学生さんの勉強も兼ねて中小企業のロゴマークを作成してもらうことを提案したのです。協会さんから拓殖大学さんを紹介してもらい、当社の現場も学生さんに見てもらい、ロゴ作成の対価も払いました。

海外進出や野菜工場にも挑戦

事業面では07年11月、狭山市に狭山工場を建設。翌年のリーマン・ショックを受け、



高精度な加工を支える歯車加工機



NC旋盤を約40台擁する

08年12月に立川工場の設備の90%を狭山工場に移設しました。

立川工場には植物工場を立ち上げました。植物工場で採れた葉物野菜は、飲食店や百貨店向けに卸していました。ただ、植物工場は電気代などの維持費がかかり、設備投資も必要ことから本業への影響も考慮し、14年6月に植物工場は閉鎖しました。

海外展開では、05年7月中国に現地法人を設立し、13年5月にタイで生産会社を設立しました。23年にタイと中国からは撤退しました。現在の生産拠点は狭山工場1カ所となっています。

これまで外部環境の変化に応じて、生産拠点の増設や再編、新規事業について早めの決断を下してきました。こうした中で、約20年前からタイの技能実習生を受け入れてきたことが功を奏しています。現在、同国からの技能実習生が11人、特定技能外国人が4人います。

国内回帰で足場固め

当社は国内外の生産拠点の再編を行ったことから、今は会社の足場固めをしてエネル

ギーを蓄えています。経費削減に取り組む一方で、高品質なものづくりを続けていくためには、一定の設備投資をしています。

社内では毎月、製造、品質管理、購買、営業、総務の職場ごとに、業務の改善について発表してもらう会を開いています。基本の徹底や仕組み化に取り組み、製造現場のレイアウト変更も準備しています。納品管理のデジタル化などについても検討していますが、先に運用規定を構築することの方が大事だと考えます。

その一方で、従業員のために2カ月に1回は、社内イベントを開いていきたいと考えています。規模は小さくとも一流の企業を目指す当社は、これからも人材を大切に育てていきます。



検査室の様子

商号 マノ精工株式会社
代表者 代表取締役社長 林 愛子
所在地 東京都立川市幸町1-13-3
従業員 約50名
創立 1948年2月
ホームページ <http://www.mano-seiko.jp/>



My proud technique is...

TAMA協会会員の

今月の

ワザ自慢!



効率アップ、品質向上、明日のイノベーションのため、独自に磨いた技・業・ワザに学びたい。コンペティターや見えない市場を想定し、自社の強みを打ち出すところに成功の鍵がある。

機器・システムのサポートサービス 京西テクノス株式会社

AIによる故障予測の開発に取り組む

京西テクノスは、医療機器や計測器、電子機器、システムなどのメンテナンスや修理、運用管理を行う総合サービスを展開している。

機器のトラブルに関する受け付けから部品の製造・管理、現場でのエンジニアによる対応までの一貫したサービスが強み。同社の臼井努社長は、「当社はIoT（モノのインターネット）を活用してリモートによる監視・制御ができるだけでなく、何かトラブルが起こればエンジニアが現場に駆けつけるという役務を提供できるところが他社との差別化になります」と説明する。



同社のサービス拠点は本社を含め、北海道から沖縄まで全国に14カ所ある。「私どもは、さまざまな装置をメンテナンスしていますが、お客さまから言われたことをこなすだけでなく、先にトラブルに気付いたり、現地向かう前に故障箇所を把握したりできるのです」（臼井社長）。

例えば、事前に機器の修理箇所が特定できていれば、エンジニアが現場に向かう際に必要なパーツを持っていくことができ、後からパーツを取り寄せるといった無駄が省ける。

そこで近年同社が力を入れるのは、自社開発のリモート監視ソリューション「Wi-VIS」で、医療現場や宿泊施設、工場、ダムへのゲートなどに導入実績がある。無線通信を使い顧客の機器を常時監視するシステムを自前で構築し、無線機器も自社開発した。「お客様のニーズに応じてセンサーを選別して後付けし、現場のさまざまなことを可視化するソリューションを展開しています」（同）と話す。

さらに、これまで蓄積してきたデータの解析に基づき、人工知能(AI)によ



る故障予測の開発にも乗り出した。「故障予測ができるようになれば、トラブル自体の発生を抑えることができます。これからもAIのような新しい技術を取り込みながら、サービスの高付加価値化を図っていきます」（臼井社長）と、さらなる高みを目指す。

商号 京西テクノス株式会社
代表者 代表取締役社長 臼井 努
所在地 東京都多摩市愛宕4-25-2
創立 2002年2月
ホームページ <https://www.kyosaitec.co.jp/>



〔本コーナー掲載企業募集中〕

貴社の「ワザ自慢!」を記者が取材します。お問い合わせは、事務局 (info@tamaweb.or.jp) まで



株式会社エーディーシー

×産総研

再挑戦からのサポイン採択

電子計測器を製造するエーディーシーは、国立研究開発法人・産業技術総合研究所(産総研)と共同で、脱着可能な小型基準電圧源を搭載した電子計測器を開発した。令和4(2022)年度まで行われていた、戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)に採択された。その際の事業管理機関は、首都圏産業活性化協会(TAMA協会)が担い、予算表の作成や各種手続きなどをサポートした。

開発予算を確保

近年は電子部品の高密度化や微細化、低電圧化が進み、生産で要求される高精度計測がコストを圧迫している。電子計測器は性能維持のために定期校正をする必要があり、これまでは計測器本体をいったん生産ラインから外し、別の場所に輸送して校正していた。

今回、電子計測器の精度の要となる基準電圧源を小型化モジュール化し、脱着可能とした。

これにより、計測器本体を外部に持ち出す必要がなくなり、精度劣化や運用コストなどの問題を解決した。

今回の開発プロジェクトでサポイン事業を活用した背景について、田中功・取締役開発部長は「構想は出来上がっており特許申請も行いましたが、予算などの問題もあり、なかなか進捗しませんでした。そこでサポインで予算を確保して進めることを産総研さんと決めました」と説明する。

“三度目の正直”で

実は最初にサポインを申請しようとしたのが17年だったが、その時は書類を用意していたものの、準備不足のため申請を見送ったという。翌年に「産総研さんから事業管理機関としてTAMA協会さんを紹介してもらい申請し、内容はまずまずの評価でしたが、その年は不採択でした」（田中取締役）。

このプロジェクトでは、内容はほぼそのままで、計

実施報告

Layer1:交流

合同新人研修2024を開催

TAMA協会は4月2～4日にかけて、東京たま未来メッセ(東京都八王子市)で「合同新人研修2024」を開催しました。

8社19名の新入社員が参加。「組織で生き活きと仕事をするための社会人・プロフェッショナル人材への第一歩」という全体テーマのもと、社会人として活躍するための土台作りを学びました。

また、会社の垣根を越えて積極的なコミュニケーションが図られ、「TAMA同期の絆」も深められました。新入社員の方々の今後の活躍にご期待ください。



the HINT65(SICミニセミナー)

さがみはら産業創造センター(SIC)で4月15日、the HINT65(SICミニセミナー)が3月27日に続いて開催されました。今回も小川直樹TAMA協会デジタルビジネスプロデューサーが講師として登壇。「BtoB型企業のWebマーケティング実践 応用編」をテーマに講演しました。前回同様、参加者たちは興味を持ち、参加企業のフォロー活動も始めています。

第5回つなぐWaSession・Global

TAMA協会は4月22日、「つなぐWaSession・Global」を開催しました。今回は富士インフォックス・ネット(株)の宗像宏治氏とR production Inc.の菊池領子氏が登壇。宗像氏は「外国人材が企業・組織の発展向上にどう貢献するか?」をテーマに、菊池氏は「高度外国人材のインターンプログラムについて」と題しそれぞれ講演が行われました。

来場者とリモート聴講者が25名ずつで、合計50名の参加者から活発な質問や意見が出ました。

その後の懇親会ではセッションの熱気がそのまま持ち込まれ、大いに盛り上がりました。



高瀬総合法律事務所

困ったとき
困ることが起きる前
企業の発展をさせたい時
ぜひご相談ください。

下請法・株主総会運営
IPO・M&A
特許・知的財産

KANAGAWA OFFICE
相模原市緑区橋本6-5-10 中屋第2ビル2-E
TEL 042-770-8611 FAX 042-770-8622

TOKYO OFFICE
東京都新宿区西新宿1-20-3 西新宿高木ビル8階
TEL 03-3344-6155 FAX 050-3558-6358

トピックス

令和5年度 通常総会を6月28日に開催

TAMA協会は2024年6月28日(金) 14時から17時10分まで、八王子市学園都市センター12階イベントホール(八王子駅北口より徒歩2分)で、通常総会を開きます。また、総会終了後の17時30分から19時30分まで、懇親会をRestaurant Bar Globe(八王子市東町11-8豊泉ビル2F)で行います。

相模原サテライト開設のお知らせ

4月、TAMA協会の相模原サテライトオフィスを、さがみはら産業創造センター(連携協定機関)内に開設しました。住所は下記の通りです。

〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本5-4-21
さがみはら産業創造センター(SIC) Desk10

協会の拠点は八王子本部、羽村サテライト、相模原サテライトの3カ所となり、さらに会員企業のサービス向上に取り組んでいきます。

今後の予定

(予定は変更になる可能性があります。詳細はホームページをご確認ください)



Layer1:交流

KISTEC施設公開デー2024

来場登録制・参加無料

主催(場所):神奈川県立産業技術研究所(KISTEC)
TAMA協会後援

日時:2024年5月17日(金) 13:00~ Day1(溝の口支所)
日時:2024年5月31日(金) 13:00~ Day2(海老名本部)

同時開催TAMA協会共催セミナー「どう向き合う?生成AI」

日時:5月31日(金) 14:30~15:45 (海老名本部)

サイバーセキュリティ対策入門セミナー

日時:2024年5月21日(火)
13:30~16:30

場所:八王子市生涯学習センター(フリエイトホール)

テーマ:大切な取引先から安心・信頼される企業であり続けるために~情報セキュリティ自社診断によるリスクの見える化と基本的な対策の紹介~

講師:TAMA協会デジタルビジネスプロデューサー小川直樹氏

そろそろやらなきゃ...とお思いのあなた!

クラウド型事業承継実行支援サービス

承継ちゃん

かんたん 月々6,600円

自分でできる

syoukeichan.com

画名を分かりやすいタイトルに変更。ターゲット市場として、高度に電子化した自動車で使用される電子部品を加えるなど、成果の出口をより明確化する変更を加えて申請したところ、採択に漕ぎつめた。「TAMA協会さんには書類の書き方からアドバイスを受け、実際に事業を行っている最中も、毎月提出する書類のチェックなどしてもらいました。」(同)。

2度目の申請では自動車、電子部品、センサー、校正事業を手掛ける事業会社4社がアドバイザーとして参画。この4社は定期的にミーティングを開き、出来上がった試作機をアドバイザー企業に貸して、評価も依頼した。



モジュールを取り出せる

甘え許されない

サポイン事業は実施期間が決まっており、開発計画を外部に示してチェックを受けるため、進捗に対する甘えが許されない。また、開発に当たっては技術的な課題もあった。

開発部の金井貴宏氏は「モジュールを脱着式にすると外部の影響を受けやすくなるため、小型化と温度バランスなどに苦労しました。解決策として機器の内部を一定の温度に保つために断熱材を施し、電氣的な干渉を受けにくいように回路も工夫しました」と明かす。

サポイン事業を実施した副次的な効果としては、これまで予算的に難しかったプリント基板切削加工機などの設備が導入できた。これらの設備は現在でも役に立っているという。また、アドバイザー企業などと連携を進めていく中で、人脈が築けたことも大きなメリットとなった。

田中取締役は「脱着可能な小型基準源モジュールは、今まで誰もやったことがありませんでした。



田中取締役(左)と開発部の金井さん

そこで技術を確立できたというのは、我々の強みです。この技術はさまざまな電子計測器に応用が可能です。高精度でありながら校正のコストが削減できるのです」と胸を張る。将来はモジュールのさらなる小型化を目指していくという。

現在、校正で使う高精度な計測器は米国など海外メーカー産が多い。同社が日本メーカーとして、脱着可能な小型基準電圧源を用いた

電子計測器を開発した意義は、小さくない。

商号 株式会社エーディーシー
代表者 代表取締役社長 持田 博史
所在地 埼玉県滑川町大字都77-1
創立 1971年7月
ホームページ <https://www.adcmt.com/>





広げよう会員の輪 **新規会員の紹介**



新規会員との意見交換・面談を希望する方は、事務局へご連絡ください。

NEW

4万5千社に選ばれる、経営の可視化伴走支援

『DX化といわれるけれど、どこから手を付けていいかわからない』
『自社のDX課題に合うツールがどれかわからない』
『社内にIT担当者がいない』
このようなお悩み事はありますか。

株式会社フォーバルは全国4万5千社の中小・小規模事業者の課題解決に取り組んできた実績・ノウハウをもとに、専任担当者が企業の課題を徹底サポートします。
業務改善だけでなく、市場調査や戦略立案、売上拡大、採用支援まで、企業の課題解決ならフォーバルにお任せください。

株式会社フォーバル
東京都渋谷区神宮前5-52-2 青山オーバルビル14階
TEL 0120-81-4086
URL <https://www.forval.co.jp/>



NEW

アスベスト専門のトータルサポート

アスベスト専門のコンサルティング業です。
私はアスベスト分析に8年ほど携わり、インストラクター資格も所有しています。
主にアスベスト分析会社のゼロからの立ち上げや、業務効率化、未経験者への教育を実施してきました。

どんな小さなことでも相談できる先として、アスベスト全般の相談対応や、ラボ改善のサポートをしています。

Labest Partner 代表 濱田 早苗
東京都八王子市新町2-5 コスモロード八王子2F-14
TEL 050-3092-3664
URL <https://labestpartner.info/>



NEW

個人会員

波多野 佑典 (はたの ゆうすけ) 組織コンサルタント・中小企業診断士

得意領域 業界問わず社員数30人以上で、儲かっているのに、管理職が機能しない、社員がよく辞める会社が得意です。

高木 英一 (たかき えいいち)

得意領域

経営計画・実施支援、事業企画・運営支援、イノベーションプロデューサー、システムアーキテクト、POCデザイン及び開発支援または受託、新規市場開拓支援、インサイドセールス支援

専門技術分野

電子回路設計・IT・ソフトウェア関連

一般社団法人 首都圏産業 活性化協会 事務局員の紹介



芳賀 啓一
理事・事務局長



鈴木 直仁
事務局次長
兼新事業開発ディレクター



松本 浩造
シニアテクニカルアドバイザー
助成金分野専門家



渡辺 豊
シニアアドバイザー/
産学官連携コーディネーター



八木 誠
シニア産学官連携コーディネーター
自治体連携



笠井 俊介
産学官連携コーディネーター
WEBエンジニア



小野寺 淑
総務・経理担当



堺 奈都
産学官連携コーディネーター
助成金分野専門家



佐藤 隆洋
産学官連携コーディネーター
医用機器分野専門家



小川 直樹
デジタルビジネスプロデューサー
中小企業診断士・ITコーディネーター



松尾 徳人
ものづくりビジネスプロデューサー



平田 知之
カーボンニュートラル推進プロジェクトリーダー
環境省認定制度 脱炭素アドバイザー-ベーシック
西武信用金庫出向



岩崎 盛夫
産学官連携コーディネーター
自治体連携・社会課題解決



石川 稔也
産学官連携コーディネーター
山梨中央銀行出向

編集後記

幣協会は、ここ5年で会員企業数・職員数・事業数が増加し、また関係機関・関係団体との良好な関係を構築させて頂き、活動エリアを拡大するなど大きく変化してまいりました。会報も第44号が発行でき、主催する異業種交流会つなぐWaSessionにおいては48回の開催を迎えることができました。これらの実績が積めたのも、皆さまのお陰であり改めて感謝申し上げます。令和6年度に入り今年度も皆さま方と一緒に発展していけるよう活動していきたいと思っておりますので、何卒宜しくお願い致します(鈴木)。

TAMA経済NEWS(つなぐWa)では広告協賛いただける企業を募集しています。詳細は事務局 (info@tamaweb.or.jp) までお問い合わせください。

【サイズ】①横57mm×縦48mm、②横57mm×縦100mm、③横129mm×縦98mm、④横129mm×縦142mm(特別枠)の計4タイプがあります。

発行元・問い合わせ

一般社団法人首都圏産業活性化協会会報「つなぐWa」は、協会ホームページへ掲載し、メールマガジン等で企業・自治体・商工団体・金融機関等へご案内しています。
一般社団法人首都圏産業活性化協会 Email: info@tamaweb.or.jp URL: <https://www.tamaweb.or.jp/>

■八王子事務所

〒192-0083 東京都八王子市旭町9-1八王子スクエアビル11階 TEL:042-631-1140 FAX:042-631-1124

■羽村サテライト(月曜日休館)

〒205-0003 東京都羽村市緑ヶ丘2-11-1羽村市産業福祉センター1階 TEL:042-570-3481 FAX:042-570-3482